

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回 覧 

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

高等教育活性化シリーズ 366 (通算 697 回)

2018 年 4 月 18 日 (水)

いかに・どこまで／個人と大学にとって――

# 公正研究・研究倫理教育の現在と新展開

高等教育活性化シリーズ 368 (通算 699 回)

2018 年 4 月 24 日 (火)

教員・研究者としての活力、そして組織の活性化に向けて――

# 大学教員の人事・評価・処遇施策の新展開Ⅲ

いかに・どこまで／個人と大学にとって――

## 公正研究・研究倫理教育の現在と新展開

～ 新 e ラーニングシステム／学生・院生、教員・研究者別プログラムの実践 ～

- ※ 文科省の公正研究活動の推進施策／ガイドラインと履行状況／不正事案公表／促進モデル調査結果
- ※ RCR 教育の目標・方法と測定・評価／東工大での取組／科学者と社会の well-being を目指して
- ※ 新 e ラーニングプログラムの導入状況と活用例／教材開発の改訂・拡充／教育研究機会への取組
- ※ [筑波大] 学部・大学院・教員への階層的カリキュラム／具体事例と仮想事例／教育効果と限界

### ● 講 師 陣 ●

|         |   |                                 |
|---------|---|---------------------------------|
| 塚本 圭二 氏 | ／ | 文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 研究公正推進室長 |
| 札野 順 氏  | ／ | (国) 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授      |
| 野内 玲 氏  | ／ | (一財) 公正研究推進協会 (APRIN) 主任研究員     |
|         |   | (国) 信州大学 医学部 助教                 |
| 岡林 浩嗣 氏 | ／ | (国) 筑波大学 生命領域学際研究センター 講師        |

2018 年 4 月 18 日 (水) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

教員・研究者としての活力、そして組織の活性化に向けて――

# 大学教員の人事・評価・処遇施策の新展開Ⅲ

～ 評価結果の活用方策／制度の丁寧な運用と見直し／最前線と実際 ～

- ※ 教員・研究者の業績評価の現状～国公立大学調査から／導入経緯・評価方法・結果活用／課題
- ※ [岐阜大] 年度・関門評価～項目と手順・解析と見直し／処遇への反映／ポイント制と現状と限界
- ※ [秋田県立大] 教員評価制度導入 5 年の運用と評価／制度改革のプロセス／改訂作業・内容の実際
- ※ [上智大] 加点评価によるモチベーション向上／評価の負荷を最小化／評価の項目・方法と反映

### ● 講 師 陣 ●

|         |   |                          |
|---------|---|--------------------------|
| 林 隆之 氏  | ／ | (独) 大学評価・学位授与機構 研究開発部 教授 |
| 森脇 久隆 氏 | ／ | (国) 岐阜大学 学長              |
| 小林 淳一 氏 | ／ | (公) 秋田県立大学 理事長 学長        |
| 須田 誠一 氏 | ／ | (学) 上智学院 人事局長            |

2018 年 4 月 24 日 (火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[ 参加要領 ]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 366 公正研究・研究倫理教育の現在と新展開

2018年4月18日(水) 10:00~16:40

会場：剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

日時： ■高等教育活性化シリーズ 368 大学教員の人事・評価・処遇施策の新展開Ⅲ

2018年4月24日(火) 10:00~16:40

会場：日本教育会館 会議室(東京・神保町) 千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03-3230-2833

(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

| 参加費                                     | ご一名(資料代を含む)                       | メディア参加(資料及び音声CD)                  |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 高等教育活性化シリーズ 366<br>公正研究・研究倫理教育の現在と新展開   | 40,000円(税込)<br>高等教育同人 20,000円(税込) | 41,000円(税込)<br>高等教育同人 21,000円(税込) |
| 高等教育活性化シリーズ 368<br>大学教員の人事・評価・処遇施策の新展開Ⅲ | 41,000円(税込)<br>高等教育同人 20,000円(税込) | 42,000円(税込)<br>高等教育同人 21,000円(税込) |

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声CDを送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※ 受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

☆ 高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。メールアドレスをご登録くださいませ。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 366  
**公正研究・研究倫理教育の現在と新展開**  
 高等教育活性化シリーズ 368  
**大学教員の人事・評価・処遇施策の新展開Ⅲ**

(□に✓印を入れてください)

- 一般  同人  
 当日参加  メディア参加  
 一般  同人  
 当日参加  メディア参加  
支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替  
必要書類  請求書  見積書  領収書

勤務先 \_\_\_\_\_ (書類宛名 \_\_\_\_\_)  
〒 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
|       |         |         |
|       |         |         |
|       |         |         |

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間                  | 講義項目  |
|---------------------|---|
| 10:00<br>}<br>10:50 | <p>□ 文部科学省における公正な研究活動の推進に向けた施策について<br/>                     文部科学省 塚本 圭二</p> <p>1. これまでの公正な研究活動の推進に向けた取組について<br/>                     (1) 概観<br/>                     (2) 新ガイドラインについて</p> <p>2. 新ガイドラインを踏まえた取組と課題について<br/>                     (1) 研究公正推進室設置後の取組<br/>                     (2) 喫緊の課題と今後の取組の方向性</p> <p>3. 公正な研究活動の推進に向けて</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>  |
| 11:00<br>}<br>12:30 | <p>□ 大学・研究機関における公正研究・研究倫理教育の現状と課題<br/>                     ～ 東京工業大学での取組と研究倫理プログラムの可能性 ～<br/>                     東京工業大学 札野 順</p> <p>1. 責任ある研究活動 (RCR: Responsible Conduct of Research) 教育の現状と課題<br/>                     (1) RCR 教育の教育目標 (2) RCR 教育の方法<br/>                     (3) RCR 教育の効果をどのように測定・評価すべきか</p> <p>2. 東京工業大学での取組<br/>                     (1) 大学院キャリア科目「科学者の倫理」概要<br/>                     (2) 研究倫理プログラムの可能性<br/>                     (3) 研究の現場での倫理教育</p> <p>3. RCR 教育が目指すべきもの<br/>                     (1) 志向倫理と予防倫理 (2) 科学技術倫理 2.0<br/>                     (3) 科学者と社会の well-being (よく生きること) を目指して</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>      |
| 13:30<br>}<br>15:00 | <p>□ 新システム「APRIN eラーニングプログラム」の導入状況と活用方策<br/>                     ～ 教材開発・改訂の現状/今後の拡充 ～<br/>                     公正研究推進協会 野内 玲</p> <p>1. APRIN 新 eラーニングプログラムの導入状況<br/>                     (1) APRIN 新 eラーニングシステムでできるようになること<br/>                     (2) APRIN 新 eラーニングプログラムの導入に際したメリット<br/>                     (3) 教育研修での活用例</p> <p>2. 教材開発・改訂の現状<br/>                     (1) CITI Japan 教材の発展 (2) APRIN 独自の教材の開発<br/>                     (3) 関係機関と共同開発中の教材</p> <p>3. eラーニング教材以外の教育研究機会の拡充<br/>                     (1) APRIN が行なってきた活動<br/>                     (2) APRIN が提供する予定の教育研究機会</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>                               |
| 15:10<br>}<br>16:40 | <p>□ [筑波大] 教員・研究者への研究倫理教育の制度設計と実践<br/>                     ～ 学部・大学院・教員の階層的カリキュラム/論文データ管理システム ～<br/>                     筑波大学 岡林 浩嗣</p> <p>1. 筑波大学における研究倫理教育<br/>                     (1) 研究倫理教育の背景 (2) 学内における研究倫理教育制度<br/>                     (3) 大学院共通科目「研究倫理」が目指すもの</p> <p>2. 研究倫理教育の形式と効果<br/>                     (1) e-learning とグループ討議<br/>                     (2) 事例からの学び ～ 具体事例と仮想事例<br/>                     (3) 教育効果をいかにして計るか</p> <p>3. 研究公正と研究倫理教育 ～ 現状と今後の課題<br/>                     (1) 研究倫理教育の理想と限界<br/>                     (2) 学生向け研究倫理教育をいかにして実質化するか<br/>                     (3) 研究公正のための研究者支援制度とシステム</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p> |

| 時間             | 講義項目  |
|----------------|---|
| 10:00<br>11:20 | <p>□ 教員・研究者の業績評価の現状と課題<br/>                     ～ 国公立大学への調査からみえる、目的・方法・結果活用の現状 ～<br/>                     大学評価・学位授与機構 林 隆之</p> <p>1. 教員・研究者評価の導入経緯<br/>                     (1) 導入の年別・設置者別状況 (2) 教員の雇用形態の多様化と評価<br/>                     (3) 評価の導入目的</p> <p>2. 評価の方法<br/>                     (1) 目標管理型、実績指標型の事例 (2) 各種データと収集体制<br/>                     (3) 評価結果の活用方策 (4) 導入目的と実施効果の差異</p> <p>3. 評価の課題<br/>                     (1) 課題点の認識状況 (2) 若手教員・研究者を育成する評価とは<br/>                     (質疑応答)</p>   |
| 11:30<br>12:50 | <p>□ [岐阜大] 教員人事給与制度改革の取組みと実際<br/>                     ～ 年度・関門評価制度/処遇への反映/ポイント制の導入と現状 ～<br/>                     岐阜大学 森脇 久隆</p> <p>1. 年度・関門評価制度<br/>                     (1) 年度評価の項目と手順 (2) 関門評価の項目と手順<br/>                     (3) 総合的な評価を行うための層別解析 (4) 評価項目・解析方法の定期的見直し</p> <p>2. 処遇への反映<br/>                     (1) 年度・関門評価の処遇への反映 (2) インセンティブと報奨金<br/>                     (3) 年俸制と評価 (4) 評価不良者への対応</p> <p>3. ポイント制の現状<br/>                     (1) ポイント制導入の経緯と運用 (2) ポイント制の限界と対策<br/>                     (3) 組織の年齢構成とポイント制 (4) 教々分離とポイント制<br/>                     (質疑応答)</p> |
| 13:50<br>15:10 | <p>□ [秋田県立大] 教員評価制度の導入と改訂<br/>                     ～ 透明性と客観性/「評価標準」の作成/組織の活性化に向けて ～<br/>                     秋田県立大学 小林 淳一</p> <p>1. はじめに<br/>                     (1) 教員評価制度の位置づけ (2) 教員評価制度の新たな導入</p> <p>2. 法人化スタート時の教員評価制度<br/>                     (1) 概要 (2) 教員評価の実施と結果の反映<br/>                     (3) 異議申し立てと評価・改善に向けた検討</p> <p>3. 教員評価制度の改訂<br/>                     (1) 評価内容、方法の改訂 (2) 評価制度の活用方法の改訂</p> <p>4. おわりに (質疑応答)</p>   |
| 15:20<br>16:40 | <p>□ [上智大] 教員評価制度の導入と今後の課題<br/>                     ～ 教員のモチベーション向上と組織の活性化へ ～<br/>                     上智学院 須田 誠一</p> <p>1. 教員評価制度の目的<br/>                     (1) 教育研究活動の推進と質の向上 (2) 教員個人および組織の活性化<br/>                     (3) 優秀な教員の確保と処遇</p> <p>2. 教員評価制度導入の基本方針<br/>                     (1) 加点評価によるモチベーション向上<br/>                     (2) 小さな制度から取り組み改善により柔軟に運用<br/>                     (3) 評価にかかわる負荷を最小化</p> <p>3. 教員評価制度の概要<br/>                     (1) 評価項目 (2) 評価方法<br/>                     (3) 評価結果の反映</p> <p>4. 今後の課題 (質疑応答)</p>                                      |